



手を洗おう



消毒しよう



うがいをしよう



マスクをしよう



換気をしよう

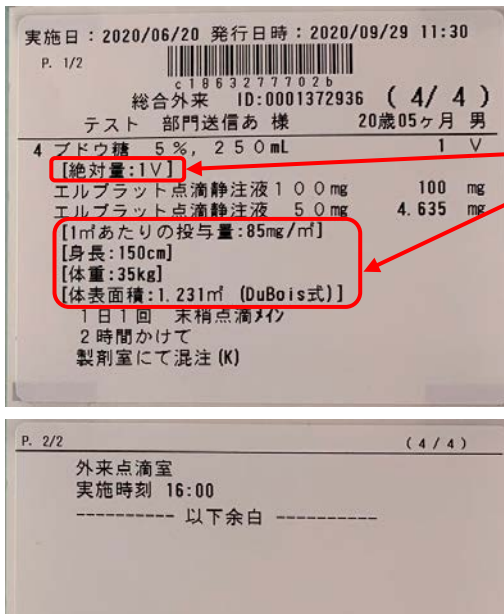


うちで過ごそう

レジメン処方ofのバーコードラベル印字内容変更のお知らせ

レジメン処方ofでオーダされた注射薬のバーコードラベルの内容を2022年7月20日調剤分より変更します。ラベルが複数枚になることによる貼り間違いのリスクを軽減するため、下記の印字を廃止し、薬剤投与時に必要な情報のみの印字に変更します。

なお、処方箋控えへの印字は従来通り継続いたしますので、必要時はそちらをご参照ください。



これらの印字を廃止します。

廃止の対象となるのは下記の記載です。

- [1kgあたりの投与量: ○mg/kg]
- [1㎡あたりの投与量: ○mg/㎡]
- [AUC: ○]
- [GFR 算定方法: Jelliffe]
- [血清 Creat 値: ○mg/dl]
- [減量割合: ○%減量]
- [算定 GFR: ○ml/分]
- [身長: ○cm]
- [絶対量: ○]
- [体重: ○kg]
- [体表面積: ○㎡ (DuBois 式)]

販売中止のお知らせ

◎ジクロフェナクNa徐放カプセル37.5mg「トローワ」(一般名:ジクロフェナクナトリウム) <徐放性鎮痛・抗炎症剤>

販売終了予定時期: 2022年10月 経過措置期間満了日: 2024年3月31日(予定)

◎注射用マキシピーム 1g(一般名:セフェピム塩酸塩水和物) <セフェム系抗生物質製剤>

経過措置期間満了日: 2023年3月31日(予定)

◎ブシラミン錠100mg「トローワ」(一般名:ブシラミン) <抗リウマチ剤>

販売終了予定時期: 2022年9月 経過措置期間満了日: 2023年3月31日(予定)

◎フラビタン錠5mg(一般名:フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム) <補酵素型ビタミンB₂製剤>

販売中止予定時期: 2022年6月 経過措置期間満了日: 2023年3月31日(予定)

◎ペリシット錠250mg(一般名:ニセリトロール) <脂質代謝・末梢循環改善剤>

販売中止予定時期: 2023年4月 経過措置期間満了日: 2024年3月31日(予定)

◎ポビドンヨードゲル10%「明治」4g、90g(一般名:ポビドンヨード) <外用消毒剤>

販売中止予定時期: 2023年3月

効能・効果、用法・用量追加等のお知らせ

※改訂部抜粋、下線部改訂

◎アダリムマブ BS 皮下注 40mg ペン 0.4mL「MA」(一般名:アダリムマブ(遺伝子組換え)[アダリムマブ後続 3])

＜ヒト型抗ヒト TNF α モノクローナル抗体製剤＞

【用法・用量】＜潰瘍性大腸炎＞

通常、成人にはアダリムマブ(遺伝子組換え)[アダリムマブ後続 3]として初回に 160mg を、初回投与 2 週間後に 80mg を皮下注射する。初回投与 4 週間後以降は、40mg を 2 週に 1 回、皮下注射する。なお、初回投与 4 週間後以降は、患者の状態に応じて 40mg を毎週 1 回又は 80mg を 2 週に 1 回、皮下注射することもできる。

◎アドセトリス点滴静注用 50mg(一般名:ブレンツキシマブ ベドチン(遺伝子組換え))＜抗悪性腫瘍薬＞

【用法・用量】＜未治療の CD30 陽性のホジキンリンパ腫＞

小児には、1 回 48mg/m² (体表面積)

◎アバステン点滴静注用 100mg/4mL、400mg/16mL(一般名:ベバシズマブ(遺伝子組換え))＜抗悪性腫瘍剤＞

【用法・用量】＜卵巣癌＞

他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはベバシズマブ(遺伝子組換え)として 1 回 10mg/kg (体重) を 2 週間間隔又は 1 回 15mg/kg (体重) を 3 週間間隔で点滴静脈内注射する。なお、患者の状態により投与間隔は適宜延長すること。

◎カナグル錠 100mg(一般名:カナグリフロジン水和物)＜SGLT2 阻害剤＞

【効能・効果】2 型糖尿病を合併する慢性腎臓病 ただし、末期腎不全又は透析施行中の患者を除く。

【用法・用量】※従来と同じ

◎キュービシン静注用 350mg(一般名:ダプトマイシン)＜環状リポペプチド系抗生物質製剤＞

【用法・用量】小児：通常、ダプトマイシンとして以下の用法及び用量に従い投与する。

＜敗血症＞

12 歳以上 18 歳未満：1 日 1 回 7mg/kg を 24 時間ごとに 30 分かけて点滴静注

7 歳以上 12 歳未満：1 日 1 回 9mg/kg を 24 時間ごとに 30 分かけて点滴静注

1 歳以上 7 歳未満：1 日 1 回 12mg/kg を 24 時間ごとに 60 分かけて点滴静注

＜深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染＞

12 歳以上 18 歳未満：1 日 1 回 5mg/kg を 24 時間ごとに 30 分かけて点滴静注

7 歳以上 12 歳未満：1 日 1 回 7mg/kg を 24 時間ごとに 30 分かけて点滴静注

2 歳以上 7 歳未満：1 日 1 回 9mg/kg を 24 時間ごとに 60 分かけて点滴静注

1 歳以上 2 歳未満：1 日 1 回 10mg/kg を 24 時間ごとに 60 分かけて点滴静注

◎グラン注射液 150(一般名:フィルグラスチム(遺伝子組換え))＜G-CSF 製剤＞※臨時採用医薬品

【効能・効果】再発又は難治性の急性骨髄性白血病に対する抗悪性腫瘍剤との併用療法

【用法・用量】通常、フィルグラスチム(遺伝子組換え) 1 日 1 回 300 μ g/m² を、フルダラビン、シタラビン等の抗悪性腫瘍剤併用化学療法の開始前日から併用化学療法終了日まで(通常 5~6 日間) 連日皮下又は静脈内投与(点滴静注を含む)する。なお、状態に応じて適宜減量する。

◎ジクトルテープ 75mg(一般名:ジクロフェナクナトリウム)＜経皮吸収型 持続性疼痛治療剤＞

【効能・効果】腰痛症、肩関節周囲炎、頸肩腕症候群及び腱鞘炎における鎮痛・消炎

【用法・用量】通常、成人に対し、1 日 1 回、1 枚(ジクロフェナクナトリウムとして 75mg) 又は 2 枚(ジクロフェナクナトリウムとして 150mg) を胸部、腹部、上腕部、背部、腰部又は大腿部に貼付し、1 日(約 24 時間) 毎に貼り替える。

◎ツートラム錠 50mg、100mg(一般名:トラマドール塩酸塩)＜慢性疼痛・がん疼痛 持続性鎮痛剤＞※院外専用医薬品

【効能・効果】疼痛を伴う各種がん

【用法・用量】※従来と同じ

効能・効果、用法・用量追加等のお知らせ

※改訂部抜粋、下線部改訂

◎ノイトロジン注 100 μ g、250 μ g(一般名:レノグラステム(遺伝子組換え))<遺伝子組換えヒトG-CSF製剤>

【効能・効果】再発又は難治性の急性骨髄性白血病に対する抗悪性腫瘍剤との併用療法

【用法・用量】<投与時期>

成人・小児：通常、フルダラビン、シタラビン等の抗悪性腫瘍剤併用化学療法の開始前日から併用化学療法終了日まで（通常5～6日間）連日

<経路及び用量>

皮下投与又は静脈内投与（点滴静注を含む） 5 μ g/kg1日1回

◎パージェタ点滴静注 420mg/14mL(一般名:ペルツズマブ(遺伝子組換え))

<抗悪性腫瘍剤(抗HER2ヒト化モノクローナル抗体)>

【効能・効果】がん化学療法後に増悪したHER2陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

【用法・用量】トラスツズマブ（遺伝子組換え）との併用において、通常、成人に対して1日1回、ペルツズマブ（遺伝子組換え）として初回投与時には840mgを、2回目以降は420mgを60分かけて3週間間隔で点滴静注する。なお、初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。

◎フルダラ静注用 50mg(一般名:フルダラビンリン酸エステル)<抗悪性腫瘍剤>

【効能・効果】再発又は難治性の急性骨髄性白血病

【用法・用量】他の抗悪性腫瘍剤等との併用において、通常、フルダラビンリン酸エステルとして、1日量30mg/m²（体表面積）を5日間連日点滴静注（約30分）する。なお、患者の状態により、投与量及び投与日数は適宜減ずる。

◎ヘムライブラ皮下注 60mg、90mg、105mg、150mg(一般名:エミシズマブ(遺伝子組換え))

<抗血液凝固第IXa/X因子ヒト化二重特異性モノクローナル抗体、血液凝固第VIII因子機能代替製剤>

※60mg、90mg、150mgは臨時採用医薬品

【効能・効果】後天性血友病A患者における出血傾向の抑制

【用法・用量】通常、エミシズマブ（遺伝子組換え）として1日目に6mg/kg（体重）、2日目に3mg/kg（体重）を皮下投与し、8日目から1回1.5mg/kg（体重）を1週間の間隔で皮下投与する。

◎リツキサン点滴静注 100mg、500mg(一般名:リツキシマブ(遺伝子組換え))<抗CD20モノクローナル抗体>

【効能・効果】視神経脊髄炎スペクトラム障害（視神経脊髄炎を含む）の再発予防

【用法・用量】通常、成人には、リツキシマブ（遺伝子組換え）として1回量375mg/m²を1週間間隔で4回点滴静注する。その後、初回投与から6ヵ月毎に1回量1,000mg/body（固定用量）を2週間間隔で2回点滴静注する。

◎リンヴォック錠 7.5mg(一般名:ウパダシチニブ水和物)<ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤>

【効能・効果】強直性脊椎炎

【用法・用量】通常、成人にはウパダシチニブとして15mgを1日1回経口投与する。

◎ロゼックスゲル 0.75%(一般名:メロニダゾール)<がん性皮膚潰瘍臭改善薬、酒さ治療薬>

【効能・効果】酒さ

【用法・用量】1日2回、患部を洗浄後、適量を塗布する。

オーダ変更のお知らせ

オーダ変更日	変更前		変更後
2022.6.28	セフトリアキソンNa 静注用 1g「ファイザー」	→	セフトリアキソンNa 静注用 1g「VTRS」
2022.7.7	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg「ファイザー」	→	エナラプリルマレイン酸塩錠 5mg「VTRS」

販売名変更のお知らせ

※在庫がなくなり次第、変更します。

変更前		変更後	旧販売名製品の経過措置満了日
シタラビン点滴静注液 1g「テバ」	→	シタラビン点滴静注液 1g「N I G」	2023年3月31日

限定出荷等のお知らせ

下記薬剤について、限定出荷等の連絡がありました。今後の安定した供給再開の見込みにつきましては、分かり次第、連絡致します。

◎オルガン静注 1250 単位(一般名:ダナパロイドナトリウム)＜血液凝固阻止剤＞

出荷量：D. 出荷停止

◎ノイロピタン配合錠(一般名:オクトチアミン、シアノコバラミン、ピリドキシン塩酸塩、リボフラビン)＜ビタミン配合剤＞

出荷量：B. 出荷量減少 製造販売業者の対応状況：② 限定出荷（自社の事情）

◎ビンダケルカプセル 20mg(一般名:タファミジスメグルミン)＜TTR 型アミロイドーシス治療薬＞

出荷量：A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況：② 限定出荷（自社の事情）

◎ファンギゾン注射用 50mg(一般名:アムホテリシン B)

＜ポリエンマクロライド系抗真菌性抗生物質製剤＞※臨時採用医薬品

出荷量：D. 出荷停止

◎ブスコパン錠 10mg(一般名:ブチルスコポラミン臭化物)＜鎮痙剤＞

出荷量：A. 出荷量通常 製造販売業者の対応状況：③ 限定出荷（他社品の影響）

【参考情報】日薬連発第 297 号 『医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義と今後の情報提供について』

＜出荷量の状況＞

- A. 出荷量通常：これまでの自社出荷量又は予定出荷量の概ね 100%以上の出荷状況
- B. 出荷量減少：これまでの自社出荷量又は予定出荷量の概ね 80%以上 100%未満の出荷状況
- C. 出荷量支障：これまでの自社出荷量又は予定出荷量の概ね 80%未満の出荷状況
- D. 出荷停止：市場に出荷していない状況

＜製造販売業者の対応状況＞

- ① 通常出荷：全ての受注に対応できている、又は十分な在庫量が確保できている状況
- ② 限定出荷（自社の事情）：自社の事情により、全ての受注に対応できない状況
- ③ 限定出荷（他社品の影響）：他社品の影響等にて、全ての受注に対応できない状況
- ④ 限定出荷（その他）：その他の理由にて、全ての受注に対応できない状況

限定出荷等解除のお知らせ

◎クラリスロマイシン DS10%小児用「サワイ」(一般名:クラリスロマイシン)＜マクロライド系抗生物質製剤＞

2022 年 7 月 11 日より限定出荷解除

◎シングレアチュアブル錠 5mg(一般名:モンテルカストナトリウム)＜気管支喘息治療薬(ロイコトリエン受容体拮抗薬)＞

2022 年 6 月 1 日より出荷調整解除

◎スルピリド錠 100mg「サワイ」(一般名:スルピリド)＜精神神経用剤＞

2022 年 7 月 11 日より限定出荷解除

◎ベオーバ錠 50 mg(一般名:ピベグロン)＜選択的 β_3 アドレナリン受容体作動性過活動膀胱治療剤＞

2022 年 8 月より限定出荷解除予定

◎レルパックス錠 20mg(一般名:エレクトリプタン臭化水素酸塩)＜5-HT_{1B/1D} 受容体作動型片頭痛治療剤＞

2022 年 6 月 9 日より限定出荷解除

「アブラキサン点滴静注用 100mg」限定出荷解除のお知らせ

抗悪性腫瘍剤「アブラキサン点滴静注用 100mg」において、海外生産拠点である ABRAXIS BIOSCIENCE, LLC (Bristol-Myers Squibb Company の子会社)での製造工程に関する定期的な検証の再評価が必要となったことから、2021年10月以降、本製品の安定供給に支障を来し限定出荷となっております。

この度、本件における再評価が完了し、当該製造拠点が稼働を再開しました。これに伴い、製造拠点の再開後の安定的な稼働と、日本市場向けの十分な在庫確保が確認できたことから、本製品の限定出荷が解除となり、通常通りの供給が再開されることとなりました。

供給が限られていた中、ご協力ありがとうございました。

『テモカプリル塩酸塩錠 2mg「日医工」』 自主回収及びオーダー一時停止のお知らせ

胆汁・腎排泄型 ACE 阻害剤『テモカプリル塩酸塩錠 2 mg「日医工」』につきまして、安定性モニタリング（24 箇月）において、溶出性が承認規格に適合しない結果が得られました。これを受け、その他の市場流通品の参考品について評価を行ったところ、使用期限内に規格を逸脱する可能性が否定できないことから、全ロットが自主回収となり、出荷停止となりました。これに伴い6月23日から処方オーダーを一時停止しました。

当該薬剤の代替薬として、6月23日より「エースコール錠 2 mg」がオーダー開始となりました。

☆Drug Safety Update No. 309 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 ★：最重要 ※：重要

成分名（薬品名）	主な改訂内容
ニボルマブ（遺伝子組換え） （オプジーボ点滴静注）	※重大な副作用：追記 重度の胃炎：免疫反応に起因すると考えられる重度の胃炎があらわれることがある。異常が認められた場合には、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。
ペムブロリズマブ（遺伝子組換え） （キイトセド点滴静注）	※重大な副作用：追記 重度の胃炎：免疫反応に起因すると考えられる重度の胃炎があらわれることがある。異常が認められた場合には、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うこと。
ニルマトレルビル・リトナビル （パキビットパック）	※重大な副作用：追記 アナフィラキシー
モルヌピラビル （ラゲブリアオパセル）	※重大な副作用：追記 アナフィラキシー
コロナウイルス修飾ウリジン RNA ワクチン（SARS-CoV-2） （コミティ筋注） ※当院非採用医薬品	※重要な基本的注意：追記 コロナウイルス修飾ウリジン RNA ワクチン（SARS-CoV-2）接種後に、ギラン・バレー症候群が報告されている。被接種者又はその保護者に対しては、ギラン・バレー症候群が疑われる症状（四肢遠位から始まる弛緩性麻痺、腱反射の減弱ないし消失等）が認められた場合には直ちに医師等に相談するよう、あらかじめ説明すること。
メロニダゾール（経口剤） （フラジール内服錠）	※重大な副作用：追記 〈効能共通〉 QT 延長、心室頻拍（Torsade de pointes を含む）
メロニダゾール（注射剤） （アネトロ点滴静注液）	※重大な副作用：追記 QT 延長、心室頻拍（Torsade de pointes を含む）